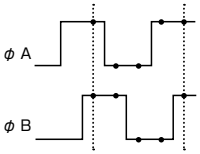
105 ロータリエンコーダ 入力ボード

出力ピン（→マイコン）

線材を挿してマイコンボードに接続します。

VCC と GND を基板の表示通りに接続したとき，ENC1 のつまみを回転させると，φ A1 とφ B1 端子から H(ハイ)と L(ロー)のパルスが出力されます。

出力されるパルスは以下のようになります。
図の点線はつまみを回したときカタッとなる間隔です。
つまみを 1 回転させると 12 回カタッとなります。

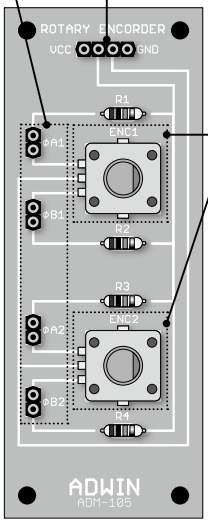


φ A	H	L	L	H	H
φ B	H	H	L	L	H

1 回カタッとなる間にφ A とφ B の出力は表のように変化します。この変化をマイコンで調べれば，回転数や回転方向がわかるのです。
つまみが落ち着いた位置での出力はφ A φ B ともに H（ハイ）です。

電源供給ピン

DC5V を供給してください。
4 ピンのうち，左 2 ピンが Vcc，右 2 ピンが GND です。他の基板へ数珠つなぎ可能です。

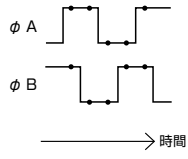


ロータリエンコーダ

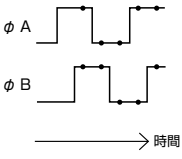
1 回転で 12 パルス発生するインクリメンタル方式のロータリエンコーダです。
回転数や回転方向をマイコンに伝えることができます。

ENC1 を使うには，φ A1，φ B1 の 2 つの端子をマイコンボードに接続します。
回転方向が不要であれば，φ A1，φ B1 のどちらか 1 つだけを接続してもかまいません。

左回りのパルス

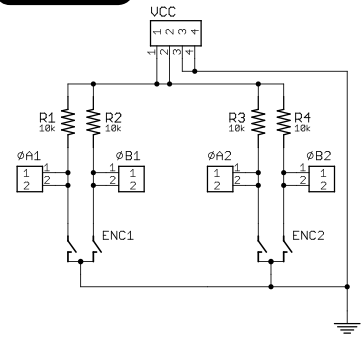


右回りのパルス



本説明書における「出力」の意味は，ロータリエンコーダボードから見て定義しています。

回路図



仕様

動作電源	DC + 5V
入力エンコーダ数	2
外形寸法	35 × 90mm

エンコーダ	
パルス / 回転	12
出力	インクリメンタル
定格電流	0.5mA

エレモシリーズ 105 入力ボード

ロータリエンコーダ

株式会社アドウィン

〒733-0002 広島市西区楠木町 3-10-13
TEL：082-537-2460（代表）
FAX：082-238-3920
E-mail：hanbai@adwin.com

・本書の一部または全部を著作権法の定める範囲を越え，無断で複写，複製，転載，テープ化，デジタル化することを禁じます．
・本書の内容，実習方法など，技術に関するお問い合わせは電話では受け付けておりませんので，あらかじめご了承ください．ＦＡＸまたは電子メール等でお願いします。また，一般的なパソコン操作に関するお問い合わせは受け付けておりませんのでよろしくお願いします。

© 2009 **ADWIN Inc.**

Printed in China